



目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の目的
 - 2.2. 前提条件
 - 2.3. 対象読者
- 3. セットアップの流れ
- 4. モジュールの選択
- 5. 関連アプリケーションのインストール
 - 5.1. PDF変換・PDFセキュリティ付与ソフト
 - 5.2. 各製品のインストール方法
 - 5.2.1. IM-PDFAutoConverterのインストール
 - 5.2.2. IM-PDFCoordinatorのインストール
 - 5.2.3. LibreOffice（Windows版）のインストール
 - 5.2.4. LibreOffice（Linux版）のインストール
- 6. 関連アプリケーションの起動・停止
 - 6.1. LibreOfficeの起動・停止（Windows版）
 - 6.2. LibreOfficeの起動・停止（Linux版）
- 7. テナント環境セットアップ
- 8. アップデート・パッチの適用
 - 8.1. アップデート
 - 8.2. パッチ
- 9. アンインストール

改訂情報

変更年月日	変更内容
2013-09-13	初版
2014-06-09	第2版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none"> 目次構成を改善しました（intra-mart Accel Platformと重複する内容を削除しました）。
2014-09-01	第3版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none"> 「モジュールの選択」を追加しました。 サポートするPDF変換ソフトの追加に伴い、説明を見直しました。
2016-05-01	第4版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none"> 「LibreOffice（Windows版）のインストール」の画像を変更しました。 「LibreOfficeの起動・停止（Windows版）」の画像を変更しました。
2016-12-01	第5版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none"> 「LibreOfficeの起動・停止（Windows版）」のコマンドを変更しました。 「LibreOfficeの起動・停止（Linux版）」のコマンドを変更しました。
2016-12-22	第6版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none"> 「4.モジュールの選択」の説明に「画面アイテム連携モジュール」を追加しました。 「PDF変換・PDFセキュリティ付与ソフト」の説明に「wkhtmltopdf」ツールの記載を追加しました。 「wkhtmltopdfのインストール」の説明を追加しました。
2017-04-01	第7版 下記を変更しました <ul style="list-style-type: none"> 「4.モジュールの選択」の説明の「画面アイテム連携モジュール」の説明を変更しました。
2017-08-01	第8版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none"> 「4.モジュールの選択」の説明に「IM-LogicDesigner連携モジュール」を追加しました。
2018-08-01	第9版 下記を変更しました <ul style="list-style-type: none"> 「5.関連アプリケーションのインストール」の説明を見直しました。 「5.関連アプリケーションのインストール」「6. 関連アプリケーションの起動・停止」にLibreOffice使用時の注意事項について記載しました。

はじめに

本書の目的

intra-mart Accel Archiver は、intra-mart Accel Platform 上で動作するモジュールとなります。
本書では intra-mart Accel Archiver に関するセットアップ内容について説明します。
基本的なセットアップ内容は、「intra-mart Accel Platform セットアップガイド」を参照してください。

前提条件

リリースノートに記載されているシステム要件を満たしている必要があります。

詳細は「[リリースノート](#)」 - 「[システム要件](#)」を参照してください。

対象読者

以下の利用者を対象としています。

- 当製品のセットアップを行われる方

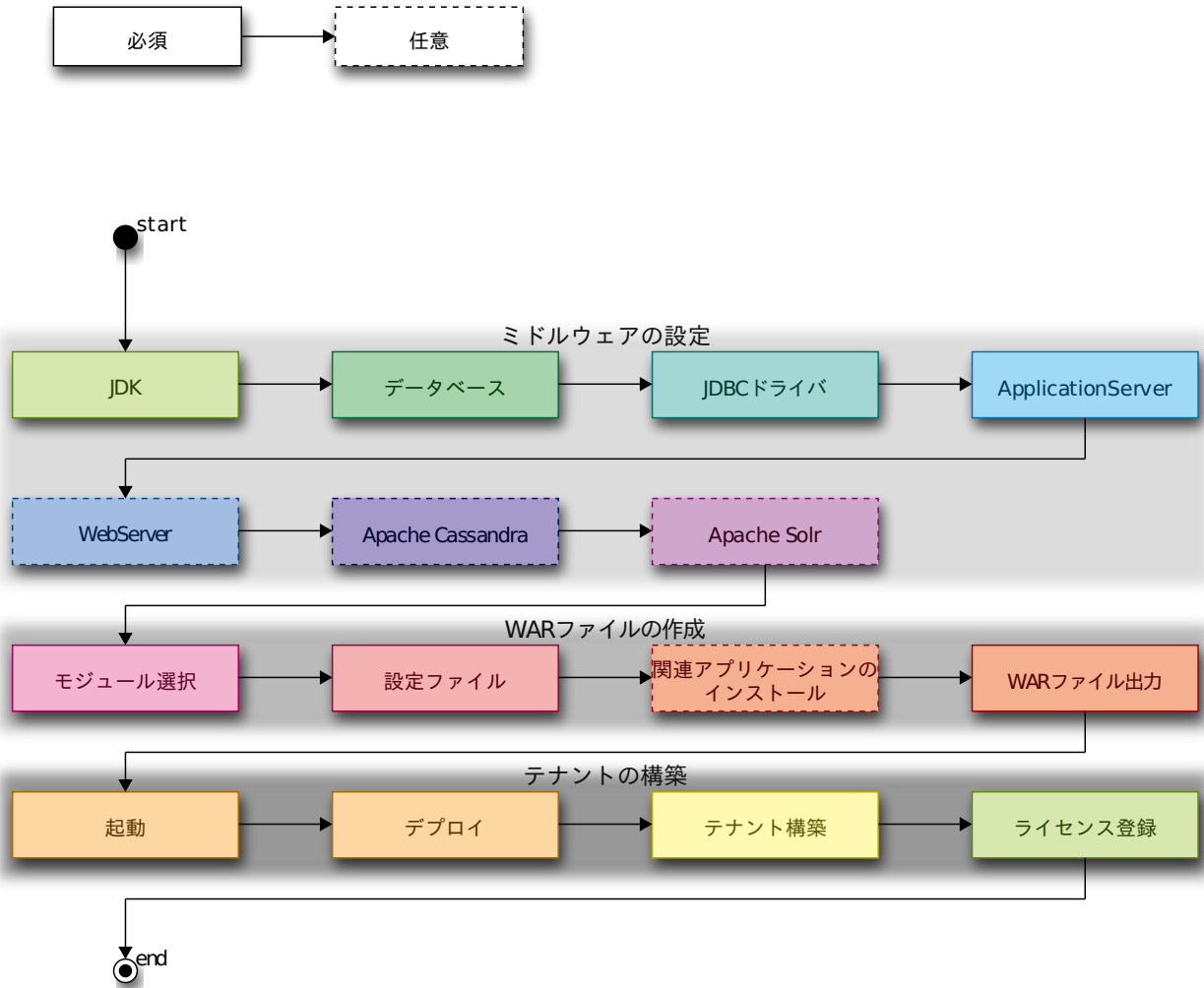
セットアップの流れ

セットアップの手順は次のフローチャートの通りです。
各ステップごとのセットアップ手順は一覧のリンク先を参照してください。

- 凡例

必須・・・セットアップが必要な項目です。

任意・・・セットアップをスキップする事ができる項目です。



Name	Description
start	
JDK	JDK
データベース	データベース
JDBCドライバ	JDBCドライバ
ApplicationServer	Web Application Server
WebServer	Web Server
Apache Cassandra	Apache Cassandra
Apache Solr	Apache Solr
モジュール選択	プロジェクトの作成とモジュールの選択 ※選択するモジュールについては モジュールの選択 を参照してください。

Name	Description
設定ファイル	基盤の設定ファイル ※ intra-mart Accel Archiver では SASTruts を利用しますので こちら の設定は必須となります。 また、ファイルアップロード時の上限サイズを制限したい場合は、 ファイルのアップロードを制限する方法 を参照してください。
関連アプリケーションのインストール	関連アプリケーションのインストール
WARファイル出力	WARファイルの出力
起動	Web Application Server の起動・停止
デプロイ	WARファイルのデプロイ
テナント構築	テナント環境セットアップ
ライセンス登録	ライセンスの登録
end	

モジュールの選択

intra-mart Accel Archiverで利用できるモジュールは以下の通りです。利用するものを選択してください。
 選択する際、依存関係のあるモジュールがインストール対象となっている必要があります。

機能名	説明
基本モジュール	intra-mart Accel Archiverの基本機能となります。 インストール対象から外すことはできません。
IMBox連携モジュール	intra-mart Accel PlatformのIMBox機能と連携する機能です。 新着ドキュメントの通知などをIMBoxに通知することができるようになります。
ポータル連携モジュール	intra-mart Accel Platformのポータル機能と連携する機能です。 新着ドキュメントの通知などをポータル上に通知することができるようになります。
IM-ContentsSearch連携モジュール	intra-mart Accel PlatformのIM-ContentsSearch機能と連携する機能です。 全文検索機能（コンテンツ・変更履歴として登録されたファイルに記載されている文字データから検索を行う機能）を利用できるようになります。
IM-Workflow連携モジュール	intra-mart Accel PlatformのIM-Workflow機能と連携する機能です。 ドキュメントを作成する際、ワークフロー（申請～承認）を利用できるようになります。
IM-PDFAutoConverter連携モジュール	IM-PDFAutoConverterと連携する機能です。 コンテンツ・変更履歴として登録された電子ファイルをPDFファイルに変換することができます。 また、変換したPDFファイルにセキュリティ（印刷制限・編集制限・テキスト抽出制限）を設定できるようになります。 本機能を利用する場合は、IM-PDFAutoConverterをユーザモジュールから登録し、「IM-PDFAutoConverter連携モジュール」をインストール対象として選択してください。 本機能を利用しない場合は、「IM-PDFAutoConverter連携モジュール」をインストール対象から除外してください。 LibreOfficeを使用する場合は、「IM-PDFAutoConverter連携モジュール」をインストール対象から除外してください。
IM-PDFCoordinator連携モジュール	IM-PDFCoordinatorと連携する機能です。 変換したPDFファイルにセキュリティ（ブラウザ以外の参照制限）を設定できるようになります。 本機能を利用する場合は、IM-PDFCoordinatorをユーザモジュールから登録し、「IM-PDFCoordinator連携モジュール」をインストール対象として選択してください。 ※本機能を利用するにはIM-PDFAutoConverter、および「IM-PDFAutoConverter連携モジュール」のインストールが必要となります。 本機能を利用しない場合は、「IM-PDFCoordinator連携モジュール」をインストール対象から除外してください。 LibreOfficeを使用する場合は、「IM-PDFCoordinator連携モジュール」をインストール対象から除外してください。
画面アイテム連携モジュール	IM-FormaDesignerとの連携機能を提供します。
IM-LogicDesigner連携モジュール	IM-LogicDesignerとの連携機能を提供します。

関連アプリケーションのインストール

PDF変換・PDFセキュリティ付与ソフト

PDF変換・PDFセキュリティ付与ソフトを導入することで、下記の機能が利用可能となります。

- ・登録したコンテンツをPDFファイルに変換し、セキュリティ対策のオプションを設定する。
- ・コンテンツのサムネイル表示を行う。

以下の組み合わせより必要なソフトのインストールを行ってください。



注意

PDF変換ソフトは IM-PDFAutoConverter を推奨します。

※LibreOfficeの場合、変換精度が低く、画像等が正しくPDF変換されない場合があります。

	IM-PDFAutoConverter + IM-PDFCoordinator	IM-PDFAutoConverter	LibreOffice	インストールしない
サムネイル	表示可	表示可	表示可	表示不可
PDF変換	変換可 (変換精度：高)	変換可 (変換精度：高)	変換可 (変換精度：低)	変換不可
オプション				
・印刷制限 ・編集制限 ・テキスト抽出制限	使用可	使用可	使用可 ※	—
・ブラウザ以外の 参照制限	使用可	使用不可	使用不可	—

※ LibreOffice 使用の場合、既にPDF化されているファイルにはオプションを設定できません。



注意

IM-FormaDesigner、IM-BIS のフォームをPDFファイルとして intra-mart Accel Archiver のコンテンツとして登録する場合、「wkhtmltopdf」ツールのインストールが必要になります。

「wkhtmltopdf」ツールのインストールについては、「[IM-FormaDesigner セットアップガイド](#)」の「[wkhtmltopdfのインストール](#)」を参照してください。

各製品のインストール方法

IM-PDFAutoConverterのインストール

以下よりインストール手順をご確認ください。

[IM-PDFAutoConverter](#)

IM-PDFCoordinatorのインストール

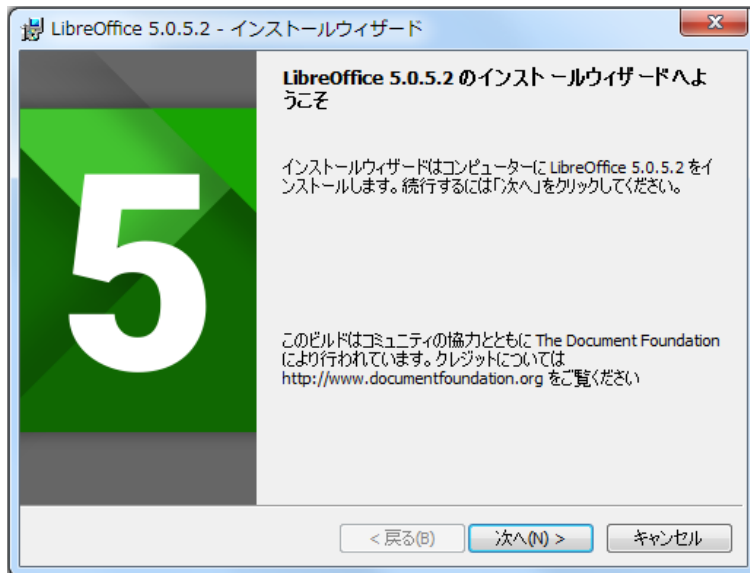
以下よりインストール手順をご確認ください。

[IM-PDFCoordinator](#)

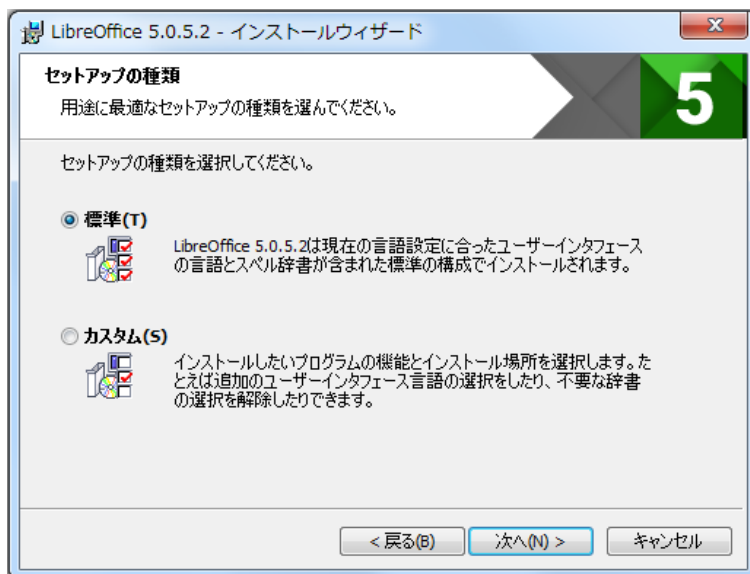
LibreOffice（Windows版）のインストール

intra-mart Accel Platform を分散環境で構築している場合には、各アプリケーションサーバにインストールする必要があります。IM-PDFAutoConverter 利用時、本インストールは不要です。

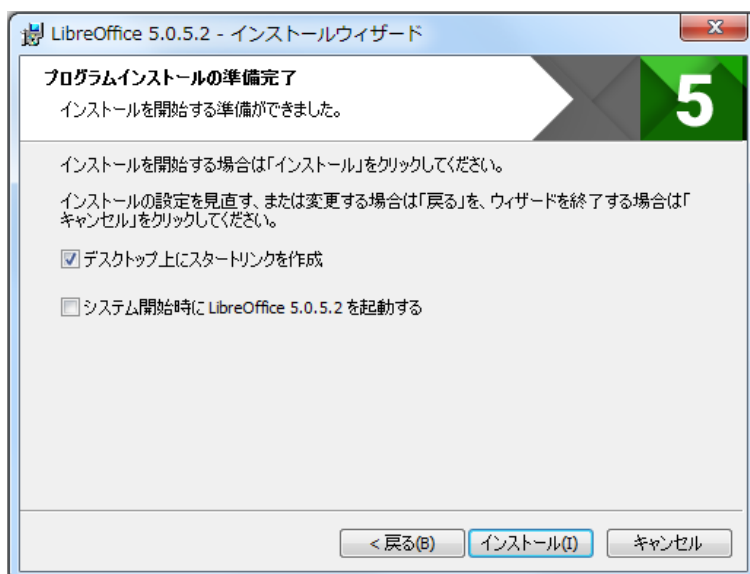
1. 「LibreOffice」のインストーラを下記のサイトからダウンロードしてください。
<http://ja.libreoffice.org/>
2. ダウンロードしたファイルを起動します。



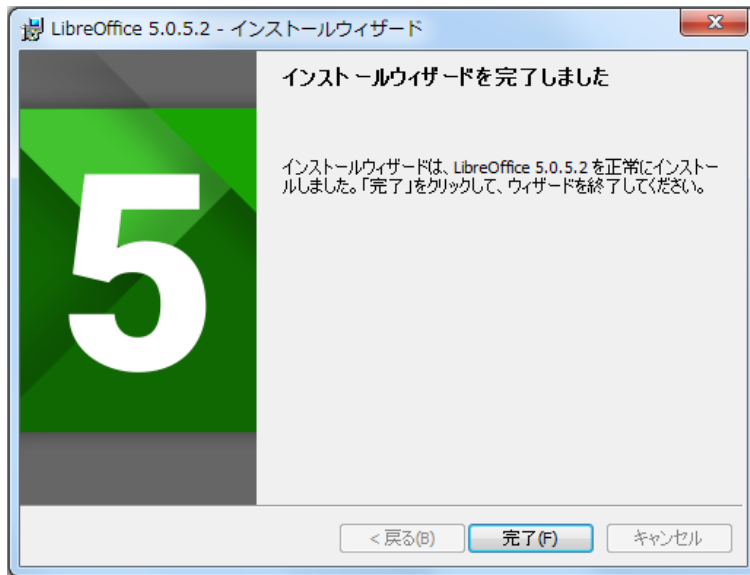
3. 「通常」を選択した状態のまま「次へ」をクリックします。



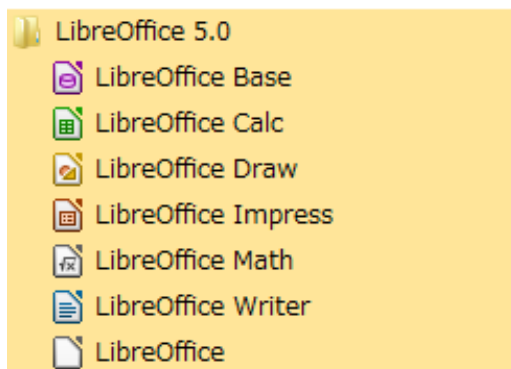
4. 特に指定しない場合は、デフォルト値のまま「インストール」をクリックします。



5. 「完了」ボタンをクリックします。



6. Windowsのスタートメニューに「LibreOffice」のメニューが登録されていれば、正常にインストールが完了しています。



LibreOffice (Linux版) のインストール

intra-mart Accel Platform を分散環境で構築している場合には、各アプリケーションサーバにインストールする必要があります。IM-PDFAutoConverter 利用時、本インストールは不要です。

1. 「LibreOffice」のインストーラを下記のサイトからダウンロードしてください。
<http://ja.libreoffice.org/>

2. ダウンロードしたファイルを解凍します。

```
# tar xzf [ダウンロードしたファイル名]
```

3. ダウンロードしてできたディレクトリ内にある「RPMS」に移動します。

```
# cd [ダウンロードしたファイル名]/RPMS/
```

4. RPMSディレクトリ内のインストーラを全て実行します。

```
# rpm -Uvh *.rpm
```

5. RPMSの中にある「desktop-integration」ディレクトリに移動します。

```
# cd desktop-integration/
```

6. ショートカット作成用のインストーラを実行します。

```
# rpm -Uvh *redhat*.rpm
```

関連アプリケーションの起動・停止

LibreOfficeの起動・停止（Windows版）

1. 以下のコマンドより LibreOffice を起動します。

```
# %LIBREOFFICE_HOME%/program/soffice.exe -accept="socket,host=localhost,port=8100,tcpNoDelay=1;urp;"
```

2. 以下の画面が表示されたら起動は完了です。



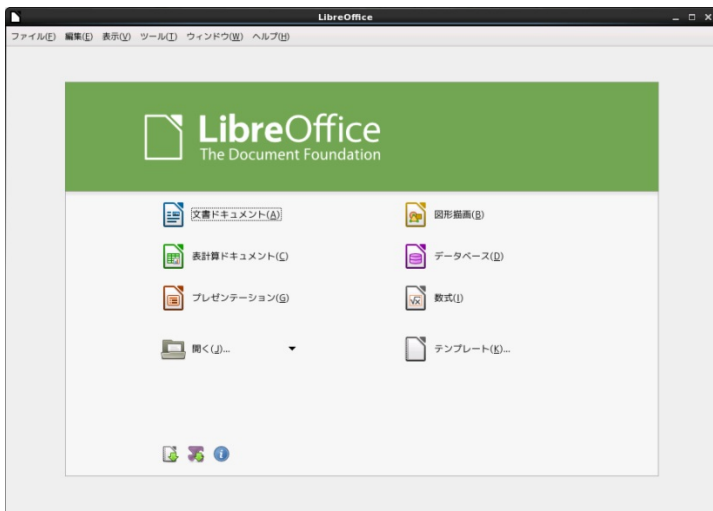
3. 停止するには、 LibreOffice の画面の「×」ボタンをクリックします。

LibreOfficeの起動・停止（Linux版）

1. 以下のコマンドより LibreOffice を起動します。

```
# %LIBREOFFICE_HOME%/soffice -accept="socket,host=localhost,port=8100,tcpNoDelay=1;urp;"
```

2. 以下の画面が表示されたら起動は完了です。



3. 停止するには、 LibreOffice の画面の「×」ボタンをクリックします。

注意

LibreOfficeはWindowsサービス/Linuxデーモンで常駐させることができないため、ログオフやスリープをするとプロセスが終了します。

LibreOffice利用時はログオフやスリープをしないように運用対処するようにしてください。

テナント環境セットアップ

- テナント環境セットアップについては、「[テナント環境セットアップ](#)」を参照してください。



注意

WARファイルに含まれているモジュールにより、テナント環境セットアップにて表示されるウィザードの順序が変わります。

アップデート・パッチの適用

- IM-Juggling を利用して最新モジュールを適用する事ができます。
詳細は、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」-「[アップデート パッチの適用](#)」を参照してください。

アップデート

- アップデートの適用は、「[アップデートの適用](#)」を参照してください。

パッチ

- パッチの適用は、「[パッチの適用](#)」を参照してください。

アンインストール

- アンインストールについては、「[アンインストール](#)」を参照してください。
- LibreOffice のアンインストールについては、同製品の手順に基づいて行ってください。